

病院歯科・口腔外科 医療用語集

- 第1章 医局・医療スタッフ
- 第2章 診療科名
- 第3章 病院・医療
- 第4章 病歴関連用語
- 第5章 治療方針
- 第6章 解剖学用語
- 第7章 病理組織学的診断
- 第8章 腫瘍に関する用語
- 第9章 再建術
- 第10章 画像診断
- 第11章 現症
- 第12章 既往歴・疾患名
- 第13章 感染症
- 第14章 歯科・口腔外科の病名
- 第15章 薬物療法
- 第16章 薬剤
- 第17章 輸血・骨髄移植
- 第18章 注射法
- 第19章 化学療法
- 第20章 免疫療法・分化誘導療法
- 第21章 処置・治療
- 第22章 器材
- 第23章 バイタルサイン
- 第24章 尿検査
- 第25章 クレアチニンクリアランス
- 第26章 血液ガス分析
- 第27章 臨床検査
- 第28章 腫瘍マーカー
- 第29章 放射線療法
- 第30章 食事療法
- 第31章 看護用語

デンタルオフィスみなと 1st edition 1998.6.19

英：英語 独：ドイツ語 ラ：ラテン語 仏：フランス語 同：同義語 略：略語 例：使用例
形：形容詞 関：関連事項 反：反対語 和：日本語 和製英：和製英語 商：商品名
注：注意事項

第9章. 再建術

移植	transplantation, grafting, implantation[英]
移植片	graft[英]
嚥下機能	swallowing function[英]
下顎骨再建	mandibular reconstruction[英]
顎顔面再建	maxillofacial reconstruction[英]
顎骨再建	reconstruction of mandible[英]
顎補綴	maxillary prosthetics[英]口蓋裂、外傷、腫瘍の手術などにより生じた顎骨の欠損を、人工的な補綴物で補い、これにより機能障害を除き、また顔貌の醜形を回復する方法。
顔面エピテーゼ	craniofacial prosthesis[英]
機能温存	organ preservation[英] morphological preservation[英]形態温存 頭頸部、消化管、膀胱、前立腺などのがんの手術では病巣の切除だけでは後の支障が多いため、機能をできるだけ保つ手術を行う。これは機能温存手術という。機能温存のため、縮小手術に放射線療法などを併用する場合と、広範の切除の後に他部位の臓器を移植する再建手術とがある。たとえば舌癌で全摘した場合、腹直筋皮弁を舌の形態に整えて移植すれば、会話や食物摂取はほぼ元通りになる。小腸の一部を膀胱にする人工膀胱増設術によりおむつに頼らない自然排尿ができる。乳房温存手術なども患者の心理面への影響が大きい。性機能や排尿、発声などに関係する神経を保存することにより機能を温存させることも重要である。このような手術法の適用によって患者のQOLは格段に向上する。
機能的顎骨再建	functional reconstruction of mandible[英]
筋皮弁	musculo-cutaneous flap (MC flap) ¹⁴⁾ [英]
血管吻合	vascular anastomosis[英]
構音機能	speech function[英]
骨移植	bone grafting[英]
再建外科	reconstructive surgery[英]先天性および後天性組織欠損(外傷ならびに腫瘍切除)変形を自家組織移植あるいは人工物の体内埋入によって機能と形態の復元をはかるものである。
前腕皮弁	forearm flap[英]
咀嚼機能	masticatory function[英]
大胸筋皮弁	pectoralis major myocutaneous flap (PM-MC flap)[英]
ダクロントレー	Dacron-Urethan mesh tray[英]顎骨再建等に用いられる網状インプラント。
チタンプレート	Titanium plate[英]チタンミニプレートやチタンメッシュプレートなどがある。口腔外科領域では、下顎骨再建術などに用いられる。
ナゾラビアル	nasolabial flap[英]鼻唇溝皮弁 ²³⁾ 、鼻唇溝部皮弁 ²³⁾ (関)sulcus nasolabialis[ラ]鼻唇溝
フラップ	flap[英]皮弁
フリーフラップ	free flap[英]無茎皮弁、遊離皮弁、吻合皮弁
辺縁皮弁	contiguous flap[英]
伸展皮弁	advancement flap[英]
V形成術	V plasty[英]
V-Y形成術	V-Y plasty[英]
Z形成術	Z plasty[英]
マイクロサージャリー	microsurgery[英]顕微鏡手術 ¹⁾ 、微小外科 ²³⁾ 微小血管吻合術を利用して皮弁の動静脈を移植床の動静脈に吻合させる方法 ¹⁴⁾
ミニプレート	miniplates for reconstructive surgery[英]再建用ミニプレート (例)シャンピー ^R (Champy ^R)
有茎皮弁、有茎植皮術	pedicled flap[英]口腔外科領域で作製する有茎皮弁は、前額皮弁、側頭皮弁、D-P皮弁、大胸筋皮弁などがある。
遊離植皮術	free graft[英] (同)free skin grafting[英]遊離皮膚移植法

頭頸部再建に用いられている遊離皮弁には、現時点では採取手技が容易で各種の軟部組織欠損に自由に対応できるという理由で橈側前腕皮弁と腹直筋皮弁が多用されている。採取手技がやや難しいが、最近では、欠損部位に応じて前外側大腿皮弁、大腿筋膜張筋皮弁、ソケイ皮弁、外側前腕皮弁、後骨間膜動脈皮弁、内側足底皮弁なども試みられつつある。

P M C B

particulated marrow and cancellous bone[英]骨髓・海綿骨細片

造血性のある骨髓には顕著な骨形成能があることが分かり、再建に用いられている。例えば、腸骨稜部より採取した自家骨髓が齒槽突起部の骨欠損に移植されると、そこに骨が新生される。

D-P 皮弁

delto-pectoral flap[英]前胸部皮弁

D-P 皮弁は、大胸筋上の皮弁 pectoral portion と三角筋上の皮弁 deltoid portion とからなっている¹⁴⁾。

(同)medically based anterior chest flap[英]

第10章. 画像診断

アーチファクト	artifact[英]人工的産物 本来被検体にないが、データ取得と画像再構成過程で発生する虚像である。
アンジオグラフィー	angiography[英]血管造影法
陰影	shadow[英]
陰影欠損	filling defect (FD)[英]
液面形成	air-fluid level[英]
横断像	axial CT (or MRI) image[英]軸位横断像
オルソパントモグラフィ	orthopantomography[英]断層撮影の原理を利用したパノラマ撮影の一方法である。撮影されたX線写真をorthopantomogram (オルソパントモグラム)という。(関)-gram[英]図 (例)orthopantomograph ^R (オルソパントモグラフ ^R)
核医学	nuclear medicine[英]アイソトープで標識した物質をトレーサ(追跡子)として、診断、治療、医学研究に応用する分野。
カセット	Kassette[独]可視光や機械的損傷からX線フィルムを保護する目的で、撮影の際にフィルムを挿入する容器である。
画像診断	medical imaging, image diagnosis[英]
冠状断像	coronal CT (or MRI) image[英]前額冠状断像
キャビティ	cavity[英]空洞。X-Pで肺に円形の透明な像が見える場合などに使う ²⁹⁾ 。
急現(きゅうげん)	X線フィルムを至急現像すること ²⁹⁾
コイン リジョン	coin lesion[英]コイン状陰影、銭形陰影(せんけいいんえい) (同)円形陰影、結節状陰影 肺のmeta等でみられるX-P所見。最大直径4cm以下のものを銭形陰影、4cm以上のものを塊状陰影とよぶ。
骨折線	fracture line[英]
ジアログラフィー	sialography[英]唾液腺造影法
ジアログラム	sialogram[英]唾影像
歯科用X線フィルム	dental X-ray film[英]
歯肉癌の骨吸収像	歯肉癌(carcinoma of the gingiva)の骨吸収像(bone resorption)には、浸潤型(permeated type)、虫喰型(moth-eaten type)、舟底型または皿状(pressure type)がある。X線所見には他に、浮遊歯(floating tooth, tooth standing in space)、スパイク状根(spiked root)などがある。
シャウカステン	Schaukasten[独]X線フィルム読解板 viewbox[英]観察箱
シュルンペル	Schrumpfen[独]縮む、収縮する、つぶれるの意味。肺のX-Pで肺の一部がつぶれているときに使うことがある ²⁹⁾ 。
浸潤状の骨吸収像	infiltrative bone resorption[英]
シンチ	scintigram[英]シンチグラム
ガリウムシンチ	⁶⁷ Ga scintigraphy[英]腫瘍シンチグラフィ(悪性腫瘍に比較的集積する)
テクネシウムシンチ	^{99m} Tc scintigraphy[英]骨シンチグラフィ(骨反応の盛んなところに集まる)
唾液腺シンチ	^{99m} TcO ₄ - scintigraphy[英]唾液腺シンチグラフィ ^{99m} TcO ₄ - (パーテクネート)約200MBq静注5-10分後にガンマカメラにて正面像、左右の側面像を撮影する方法。
石灰化	calcification[英]X線不透過性(radiopacity)を示す。
スライス	slice[英]①切片、②CTやMRIの1カット。
造影剤	contrast medium[英]
造影CT	contrast enhanced CT[英]造影剤投与後にCT撮影を行う方法。 ◇ 前処置として絶飲食とする。
超音波検査	ultrasonic examination (US)[英]
カラードップラー法	color dopplor ultrasound (or sonography, ultrasonography)[英]血流の方向や流速などの情報を断層エコー図上に重ねて表示することができ、腫瘍などの組織内の血流の検討も可能となっている。一般には血流方向は赤と青で(プローブに近づくものは赤色系、遠ざかるものは青色系)、血流の大きさ

超音波ドップラー法	は輝度で(早い血流ほど明るく)、また血流のばらつきの度合は緑色を混ぜることで表している(乱流では緑の色調が強くなる)。 ultrasonic doppler flowmeter[英]ドップラー効果を応用して血管内の血流を非侵襲的に計測することができる検査法である。連続波ドプラ法、パルスドプラ法、カラードプラ法がある。
頭頸部画像診断	head and neck imaging[英]
トモ	tomography[英]断層撮影法
トレーサ	tracer[英]追跡子 放射性元素を非放射性元素の挙動を追跡する指示物質として使う方法。
内視鏡検査	endoscopy[英]
鉛エプロン	lead apron[英]
プローブ	probe[英]探触子 超音波検査装置において、生体に密着させて超音波を発信し、生体からもどってくる反射波であるエコーを受診する部分。
ヘリカルCT	helical CT[英]CTの一種で、被験者に対してX線管球がらせん状に連続回転して投影データを収集する方法。通常のCTに比較して短時間に分解能の優れた三次元画像を得ることができる。
放射線	radiation[英]
放射線学的診断	radiological diagnosis[英]
レ線	X-ray examination[英]X線検査 (注)当科ではレ線とはいわない。
10-day rule	妊娠可能な女性に対し放射線診断を行う場合には、問診によって月経周期を確かめ、妊娠の可能性のない時期を選ぶ。
C P A	costophrenic angle[英]肋骨横隔膜角
C R	Fuji computed radiography (FCR)[英]輝尽性蛍光体をX線フィルムの代わりに用いて従来のX線撮影装置で撮影する方法。日本の富士フィルムが最初に開発したので、FCRと呼ぶが、現在ではCRと呼ばれることが多い。
C T	computed tomography[英]コンピュータ断層撮影法 画像は微小な画素(ピクセル pixel)からなるマトリックス(matrix)上に再構成される。さらに各ピクセルに断層厚を乗じた単位体積(ボクセル voxel)に含まれる平均X線吸収値の大小に応じて白黒濃淡のある画像として表示される。ボクセル内のX線吸収値を表す単位として、水を0、空気を-1000とした相対的なCT値が用いられている。CT値はCTの開発者である Hounsfield 博士の名をとり Hounsfield Unit (HU)とも呼ばれている。 ◇ X線CTでは、X線の透過の悪いところを白く(high density)、透過性の良いところを黒く(low density)表示するが、MRIでは、放出される電磁信号の強いところを白く(高信号, high intensity)、弱いところを黒く(低信号, low intensity)表示する。 ◇ 腹部を撮影するときには、前処置として絶食とする(消化管の蠕動を少なくする、胆嚢を収縮させない)。
C T R	cardiothoracic ratio[英]心胸郭比、心胸郭係数 CTRが50%以上は心拡大を示す。
I V A	interventional angiography[英]血管内に挿入したカテーテルを用いて、血管そのものを、あるいは血管を介して病変部に到達し、これを治療する方法。
I V R	interventional radiology[英]画像診断技術を応用して、病変部に経皮的に接近または到達し、各種疾患の治療や病理組織生検などを行おうとするもの。

M R I	magnetic resonance imaging[英]磁気共鳴画像法 生体には水のほかにも ¹ Hを含む分子は数多く存在するが、実際に信号として画像構成に参画するのは水と中性脂肪のみと考えてよい。それは、その他の分子のT ₂ があまりに短すぎて信号を受信する前に減衰してしまう(蛋白質のような高分子の場合)か、密度が低すぎて信号を雑音と区別できない(ビタミンなど微量な物質)のためである。したがって、脂肪組織を除けば、MRIは水からの信号を画像化しているといえる。 ¹ H原子核のきわめて少ない、強い石灰巣、骨皮質、空気(肺)などはほぼ無信号である。脂肪はT1値が短くT2値が長い。くり返し時間(TR)とエコー時間(TE)との関係により、いくつかの強調画像が構成される。
縦緩和時間(T ₁)	T ₁ はMRI信号の回復能力の指標。T1が長いほど信号は弱い。T1WはT1強調画像の意。一般にT1強調画像としてはTR200-600ms(短いTR)、TE10-30ms(短いTE)が選ばれる。
横緩和時間(T ₂)	T ₂ はMRI信号の持続能力を示す。T2が長いほど信号は強い。T2WはT2強調画像の意。一般にT2強調画像としてはTR1800-3000ms(長いTR)、TE80-120ms(長いTE)が選ばれる。
プロトン密度強調	TR1800-3000ms(長いTR)、TE30ms程度(短いTE)が選ばれる。
R I	radioisotope[英]放射性同位元素
T A E	transcatheter arterial embolization[英]経カテーテル動脈塞栓術 経皮的血管カテーテルを用いて異常な血管ルート、血管の破綻(出血)、腫瘍の栄養血管などを塞ぐ方法。
U C G	ultrasonic cardiogram[英]心エコー図 ultrasound cardiography[英]超音波心臓検査法
upper G. I.	upper gastrointestinal series[英]上部消化管造影
U S	ultra sonic[英]超音波エコー検査 (略)エコー
X線検査	X-ray examination[英]
X線所見	X-ray findings[英]
X線写真	X-ray photograph[英] (略)X-P, Xp
X線像	radiologic image[英]
X線透過性、X線透過像	radiolucency[英]
X線不透過性	radiopacity[英]
X線不透過像	radiopacity[英]

第11章. 現症

1. 全身所見

- | | |
|----------|--|
| (1) 体格 | constitution, build |
| 強健な | robust |
| 普通の | averagely built |
| 貧弱な | lean |
| (2) 栄養状態 | nutrition |
| 良好 | good |
| 不良 | poor, bad, diminished |
| 普通 | moderate, normal |
| 失調 | malnutrition |
| るいそう | emaciation |
| よく発達 | well developed |
| 发育障害 | disturbance of development |
| 肥満 | obesity, fatness |
| 衰弱 | marasmus, debility |
| (3) 体温 | temperature |
| 発熱 | fever |
| 高熱 | high fever |
| 微熱 | slight fever |
| 不明熱 | fever of unknown origin (FUO) |
| | 【FUOの定義】 ⁵³⁾ |
| | ① 3週間以上続く発熱。 |
| | ② 38.3℃以上の発熱が経過中に数回見られる。 |
| | ③ 1週間入院検査しても原因不明の発熱。 |
| 熱曲線 | temperature curve |
| 熱型 | fever type |
| 間欠熱 | intermittent fever |
| 稽留熱 | continued fever |
| 弛張熱 | remittent fever |
| 悪寒 | chill |
| 戦慄 | shiver |
| 倦怠 | fatigue, lassitude |
| (4) 消化器系 | digestive system |
| 食欲 | appetite |
| 亢進した | good, increased |
| 減退した | poor, diminished |
| 食欲不振 | anorexia |
| 嘔気 | nausea |
| 嘔吐 | vomiting |
| 嚥下困難 | dysphagia |
| 嚥下痛 | pain upon swallowing |
| 咀嚼困難 | difficulty in chewing |
| 腹痛 | abdominal pain |
| 便秘 | constipation |
| 下痢 | diarrhea |
| メレナ | melena |
| (5) 呼吸器系 | respiratory system |
| アテレク | pulmonary atelectasis[英]無気肺 |
| | 術後、疼痛や呼吸の抑制などにより、気道内分泌物の排出が妨げられ、末梢の気管支が閉塞されて、肺胞内の空気の含量が少ないか、あるいはほとんどなくなった状態。症状には、呼吸数増加、呼吸困難、呼吸音減弱、打診により濁音、発熱、頻脈をきたす。X線撮影により特有の像を示す。治療は気管内の吸引、自発的に咳や深呼吸を行わしめ、必要に応じて体位交換を施す。吸入療法を積極的に行う。 |
| アプニア | apnea[英]無呼吸 |

呼吸困難	dyspnea
咳	cough
痰	sputum
喘鳴(ぜんめい)	wheeze, stridor
	wheeze(下気道の狭窄による音)、stridor(上気道の狭窄による音)。(注)「ぜいめい」は誤った読み方。
いびき	snore
胸痛	chest pain
(6) 頭部	head
頭痛	headache
外傷	trauma
(7) 言語	speech
言語障害	disturbance of speech
構音障害	dysarthria
嗄声	hoarseness, huskiness
失声	aphony, aphonia
(8) 意識	consciousness
明瞭	clear
混濁	dull turbid, dullness, stupor
嗜眠	sleepiness
傾眠	somnolent
昏睡	coma
意識喪失	unconsciousness
失神	fainting, syncope

【意識レベル】

日本昏睡尺度 (Japan Coma Scale) (旧 3-3-9 度方式)
Grade I. 刺激しないでも覚醒している
1. どこかぼんやりしていて、意識清明とはいえない。
2. 見当識障害(時、場所、人)がある。
3. 名前、生年月日が言えない。
Grade II. 刺激で覚醒する
10. 普通の呼びかけで容易に開眼する。言葉も出る。
20. 簡単な命令に応ずる(握手)。
30. 痛み刺激下にかろうじて開眼する。
Grade III. 刺激しても覚醒しない
100. 痛み刺激を払いのけるような動作をする。
200. 痛み刺激で少し手足を動かしたり、顔をしかめる。
300. 痛み刺激に反応しない。

注) R:Restlessness (不穏状態)、Inc:Incontinence (失禁)

A:Akinetic mutism (無動性無言)、Apallic state (失外套症候群)

例: 100-Inc. 20-R Inc と記載する。

(9) 神経系	nervous system
精神状態	mental state
不安	fear, apprehension, anxiety
不眠	sleeplessness
眩暈	dizziness, vertigo
振戦	tremor
痙攣	cramp, convulsion
完全麻痺	paralysis
軽度麻痺	palsy
しびれ感	feeling of numbness
知覚鈍麻	hypesthesia
知覚過敏	hyperesthesia
スパズム	spasm[英]痙縮、強直 (形)spastic

知能障害	disturbance of intelligence
知能遅延	mental retardation
運動障害	disturbance of movement
歩行障害	disturbance of gait
歩行困難	difficulty in walking
(10)皮膚	skin
チアノーゼ	Zyanose[独] cyanosis[英]
乾燥	dry
湿潤	moist
蒼白	pale
冷汗	cold sweating
緊張	turgor
光沢のある	lustrous
褥瘡	bedsore, decubitus
発疹	eruption, rash
紅斑	erythema
紫斑	purpura
結節	nodule, tubercle
水疱	bulla, bleb
瘢痕	scar
拘縮	contracture
色素沈着	pigmentation
色素脱失	depigmentation
母斑	nevus
出血斑	blood-stain
浮腫	edema
かゆみ	itching, itch
(11)その他	
戦慄	shivering(シバリング)
易疲労感	fatigability
過労	overwork
災害	accident
奇形	deformity

2. 口腔外所見

(1)顔	face
顔貌	facial expression
正常	normal, natural
浮腫状	edematous
仮面状	mask-like
苦悶状	painful
不安状	anxious
白痴状	idiotic
瘻笑	sardonic laugh, canine laugh
満月顔貌	moon face
破傷風様顔貌	facies tetanica
三日月様顔貌	dish face
対称的	symmetrical
非対称的	asymmetrical
顔色	facial color
蒼白	pale
紅潮	flush
チアノーゼ様の	cyanotic
口囲蒼白	circumoral pallor
(2)眼	eye
ぼける、ぼやける	blurring
黄疸様の	icteric
貧血性	anemic

充血した	hyperemic
眼瞼結膜	palpebral conjunctiva
眼球結膜	Conjunctiva bulbi
結膜	conjunctiva
角膜	cornea
瞳孔	pupil
複視	double vision, diplopia
眼瞼下垂	ptosis, blepharoptosis
視力障害	disturbance of vision
対光反射	light reflex
(3) 耳	ear
耳鳴り	tinnitus, ear tingling (注)「じめい」と読む場合もある。
めまい	①vertigo[英]真性めまい：「外界がぐるぐる回る」感じ。 ②dizziness[英]仮性めまい(pseudovertigo)：身体の不安定感、「クラクラする」感じ。
難聴	hardness of hearing
耳漏	otorrhea, aural discharge
聾	deafness
(4) 鼻	nose
鼻閉	nasal obstruction
鼻声	rhinolalia
鼻漏	nasal discharge, rhinorrhea
後鼻孔漏	postnasal drop
鼻血	nasal bleeding, epistaxis
(5) 顎関節	temporomandibular joint (TMJ)
クリッキング	clicking
クレピタス	crepitus
牙関緊急 (開口障害)	trismus, lockjaw
(6) 神経麻痺	完全麻痺(paralysis)、軽度麻痺(palsy)、しびれ感 (feeling of numbness)
オトガイ神経	mental nerve, N. mentalis
眼窩下神経	infraorbital nerve, N. infraorbitalis
顔面神経	facial nerve, N. facialis
顔面神経麻痺	facial palsy, Bell palsy
(7) 頸部	neck
項部	nape
項部硬直 (強直)	nuchal stiffness
肩こり	stiffness in the shoulder, stiff shoulder
甲状腺腫	goiter, struma
板状硬結	board-like induration
リンパ節腫脹	swelling (enlargement) of the lymph nodes
(8) 咽頭	throat
咽頭痛	sore throat
扁桃腺	tonsil
口蓋扁桃	palatine tonsil
嘔吐反射	vomiting reflex
口蓋垂反射	uvular reflex
軟口蓋麻痺	paralysis of the soft palate
(9) ブラキシズム	bruxism
グライインディング	grinding
クレンチング	clenching
タッピング	tapping
(10) 骨折	fracture
骨折	fracture[英]
骨折線	fracture line[英]
介達骨折	indirect fracture[英]
外傷性骨折	traumatic fracture[英]
完全骨折	complete fracture[英]

偽関節(ぎかんせつ)	pseudoarthrosis[英]
新鮮骨折	new fracture[英]
単純骨折	simple fracture[英]
直達骨折	direct fracture[英]
陳旧骨折	old fracture, prolonged fracture[英]
病的骨折	pathologic fracture[英]
不完全骨折	incomplete fracture[英]
複雑骨折	complicated fracture[英]
マルゲーヌ圧痛	Malgaigne tenderness

3. 口腔内所見

(1) 口腔	oral cavity
口腔粘膜	oral mucous
口臭	ozostomy, foul breath, bad breath, halitosis
流涎	salivation
アフタ	aphtha
コプリック斑	Koplik's spot
偽膜	pseudomembrane
潰瘍	ulcer
びらん	erosion
出血	bleeding, hemorrhage
後出血	posthemorrhage, secondary bleeding
白色斑	leukoderma
萎縮	atrophy
瘻孔	fistula
開咬	open bite
歯肉退縮	gingival recession
小帯異常	anomaly of frenulum
(2) 開口域	maximal mandibular opening
1～4横指幅	1~4 fingerbreadth
(3) 舌	tongue
舌苔	coat
舌苔あり	coated
舌苔なし	uncoated
莓舌	strawberry tongue
味覚	sense of taste
味覚障害	disorder of the sense of taste
舌のあれ	roughness of the tongue
(4) 疼痛	pain
程度	
軽度	mild
中等度	moderate
強烈	severe
激烈	excruciating, agonizing
種類	
鈍痛	dull pain
鋭痛	sharp pain
持続痛	persistent pain
間欠痛	intermittent pain
拍動痛	throbbing pain
穿刺痛	stinging pain
放散痛	irradiation pain
疝痛	colic, colicky pain
電撃痛	lightening pain
叩打痛	knock pain
自発痛	spontaneous pain
圧痛	pain upon pressure, tenderness
ひりひりとした痛み	tingling pain

神經痛樣疼痛	neuralgic pain	
压迫過敏	tenderness on pressure	
压迫感	sense of pressure	
不快感	discomfort	
齒痛	toothache	
不快感	discomfort, sense of discomfort [英]	
(5) 損傷	injury	
創 (開放性損傷)	open injury	
切創	incised wound	
刺創	stab wound	
擦過創		
(表皮剝離創)	excoriation	
割創	cut wound	
挫創	contused wound	
裂創	lacerated wound	
咬創	bite wound	
搔爬創	scratched wound	
傷 (非開放性損傷)	closed injury	
熱傷	burns, thermal injury	
齒牙破折	fracture of teeth	
齒牙脫臼	luxation of teeth	
齒槽骨骨折	fracture of the alveolar process	
咬合異常	abnormalities of dental occlusion, malocclusion	
(6) 炎症	inflammation	
發赤	redness, rubor	
腫脹	swelling, tumor	
疼痛	pain, dolor	
局所熱感	local heat, calor	
機能障害	dysfunction, functio laesa	
膿	pus, matter	
膿瘍	abscess	
蜂巢炎	phlegmon	
うっ血	congestion	
(7) 腫瘤	mass, tumor	
膨隆	bulging	
隆起	prominence	
肥大	hypertrophy	
過形成	hyperplasia	
外方増殖性	exophytic	
大きさ	size	
長さ・幅		
1~4 横指幅	1~4 fingerbreadth	
球形		
~大	with the size of ~	
点状	punctiform	
帽針頭大	pinhead size	
粟粒大	millet	直径約 0.1cm
米粒大	rice-grain	直径約 0.3~0.5cm
麻実大	hemp-seed	直径約 0.5cm
小豆大	a red bean	直径約 0.4~0.6cm
えん豆大	pea	直径約 0.7cm
桜実大	cherry	直径約 2cm
くるみ大	walnut	直径約 3.5cm
林檎大	apple	直径約 8cm
雀卵大	sparrow's egg	長さ約 2cm 幅約 1cm
鳩卵大	pigeon egg	長さ約 4cm 幅約 3cm
鶏卵大	hen's egg	長さ約 6cm 幅約 4cm
鶩卵大	goose egg	長さ約 7cm 幅約 5cm
小指頭大	the tip of a smallfinger	直径約 1.5cm

拇指頭大	the tip of a thumb	直径約 2.0cm
小児手拳大	a baby's fist	
手拳大	fist	
小児頭大	infant's head	
成人頭大	man's head	
面積		
爪大	size of a nail	
貨幣大	size of a coin	
手拳大	size of a palm	
太さ		
鉛筆大	thick of a pencil	
小指大	thick of a small finger	
示指大	thick of a index finger	
拇指大	thick of a thumb	
形態	form	
平面的な形状		
円形	round	
卵円形	oval	
楕円形	elliptical	
紡錘系	spindle-shaped	
菱形	rhombic	
線状	liner	
半月状	semilunar	
洋梨状	pear-shaped	
腎臓形	kidney-shaped	
馬蹄形	horseshoe-shaped	
心臓形	heart-shaped	
蔓状	pampiniform	
地図状	map-like	
島嶼状	island-shaped	
立体的な形状		
扁平な腫脹	flat swelling	
びまん性腫脹	diffuse swelling	
花壇状隆起	parterre-like swelling	
不正形	irregular	
半球状	hemispherical	
球状	spherical	
結節状	nodular	
分葉状	lobular	
広茎性	broad base, sessile	
有茎性	pedunculated, pedicled	
茸状	fungus-like, mushroom-like	
ポリープ状	polypous	
乳頭状	papillary	
樹枝状	arborescent, baumzweigartig	
花キャベツ状	cauliflower-like, blumenkohllartig	
噴火口状	crater-like	
桑実状	mulberry-like	
角状	horn-like, horny	
絨毛状	villous	
色調	color	
硬さ	hardness	
軟 (脂肪の硬さ)	soft	
弾性軟	elastic soft	
泥様軟	pasty soft	
硬 (筋肉の硬さ)	hard	
弾性硬	elastic hard	
板状硬	as hard as board	
軟骨様硬	as hard as cartilage	

骨様硬	bony hard, as hard as bone
歯牙様硬	as hard as tooth
表面の性状	nature of the surface
平滑	smooth
凹凸不整	knotty, unevenness
結節状	nodular
潰瘍	ulcer
びらん	erosion
境界	border
明瞭	sharp
不明瞭	indistinct
可動性(移動性)	mobility, movability
拍動性	pulsation
硬結	induration
波動	fluctuation
仮性波動	pseudo fluctuation
真性波動	true fluctuation
羊皮紙様感	parchment crepitation
圧縮性	compressibility
捏形性	kneadability

4. その他

アイテル	Eiter[独]膿 Eiterung[独]化膿 pus[英]膿
異常なし	not particular, no problem[英]「異常なし」として、N.P.が使われることが多い。
NC	non-contributory[英]特記すべきことなし
ND	not detect[英]不検出
NP	not particular[英] no problem[英]問題なし
OB	Ohne Befunde[独]異常なし (関)Befund[独]所見
OB	Ohne Beschwerde[独]所見なし
インタクト	intact[英]無傷の (関)in-[英]無、否定 自然のまま何等の損傷を加えられないこと。
外見	appearance(アピアランス)[英] Aussehen(アウスゼーエン)[独]
限局性	circumscribed[英] (反)びまん性(diffuse)
現症	present condition, condition of the present illness[英]口 腔外科では、現症を全身所見と局所所見に分けて記載する。局所 所見は、さらに口腔外所見と口腔内所見に分けられる。
F. C.	facial condition[英]顔貌所見
G. C.	general condition, physical status[英]全身所見
O. C.	oral condition[英]口腔内所見
コアグる	coagulation[英]血液凝固
呼吸苦(こきゅうく)	dyspnea, difficulty in breathing[英]呼吸困難 Drは呼吸困難と言うが、Nsは呼吸苦ということが多い。
症状	symptom(シムプトム)[英] (関)asymptomatic無症候性の
状態	condition, status[英]状態、健康状態
滲出液、滲出物	exudate[英]
血液性滲出液	sanguinous exudate[英]
漿液性滲出液	serous exudate[英]
粘液性滲出液	mucinous exudate[英]
デテクト	detect[英]見つける、発見する (関)detection[英]検出
脱水症(デハイド)	dehydration[英]

【水分欠乏量の推定】¹⁰⁾

1) 健康時体重 - 現在の体重(kg)

2) 健康時体重(kg) × 0.6 × (1 - $\frac{\text{健康時 Ht(Tp, Na)}}{\text{現在の Ht(Tp, Na)}}$)

3) 症候からの求め方

① 口渇、尿量減少：軽度欠乏 = 1 ~ 2 リットル

② 高度口渇、乏尿、粘膜乾燥：中等度欠乏 = 3 ~ 4 リットル

頭部外傷	<p>③上記の悪化、精神症状：高度欠乏＝4～8リットル head injury[英]頭部外傷の診断と治療において、重症度の判定と治療法の選択が重要である。重症度の判定には神経学的な所見、とくに意識レベルの推移が指標となる。神経学的所見や各種画像診断を参考とした的確な診断と適切な治療が必要である。</p> <p>①経過観察でよい場合：受傷時より意識が清明、あるいは受傷時に軽度の意識障害があってもその後6時間以内に意識が清明となり、神経学的あるいは画像診断で異常がない症例。</p> <p>②早急な治療が必要な場合：緊急開頭術の適応となるのは、頭蓋内圧亢進の原因となる占拠性病変(硬膜外血腫、硬膜下血腫、外傷性脳内血腫など)を有する場合、開放性あるいは穿通性頭部外傷がある場合および視神経症状を有する場合である。頭蓋占拠性病変がない場合でも、意識障害や神経学的な脱落症状が遷延する際には、集中治療が必要である。</p> <p>(注)軽度の意識障害であっても、脳神経外科等で診断を受けた方がよいと思われる。</p>
トリアス ナルコル	<p>triad, trias[英]三大徴候(ある病気の三つの特徴) narcosis[英]ナルコーシスは、本来は麻酔という意味であるが、臨床的にはCO₂ナルコーシスのことを意味する。炭酸ガスが血液に蓄積した状態のことをいう。喘息など慢性的な呼吸器の病気 のとき、正常の2倍近くに血液中の炭酸ガスの濃度が上昇するために、麻酔がかかったようになる状態。こういった患者さんに血中の酸素濃度が少ないとあって、酸素を過剰に吸入させると逆に炭酸ガスが肺から出にくくなり炭酸ガスの濃度が上がって いってしまう²⁹⁾。</p>
ネクル	<p>necrosis(ネクローシス)[英]壊死 (形)necrotic(ネクロティック)[英] (関)necro-[英]死、壊死、屍の意を表す接頭語。</p>
びまん性 フィステル フリージング	<p>diffuse[英] (反)限局性(circumscribed) Fistel[独]瘻 fistula[英]瘻孔 freezing[英]すくみ現象 足の裏が糊で床にくっついてしまったように、動作が止まってしま い次の動作に移れなくなる状態のこと。パーキンソン病や脳梗 塞の患者さんに見られる。</p>
メルクマール ラッセル、ラ音	<p>Merkmal[独]目印、特徴 Rassel[独]肺の聴診音における副雑音 rale[英] (略)ラ音 ラ音は小さな気管支あるいは肺胞に発生する断続的なパチパチと いう音で、肺胞に空気が流れ込むときに、突然、気道が開いて出 てくる音である。</p>
リーク リージョン V A S	<p>leakage[英]漏洩、[多]開(しかい) lesion[英]病変 (注)region[英]部、部位、領域 visual analog scale[英]視覚アナログ尺度</p>